



土層層序表

時代	区分名称	記号	代表土質	記 事	N値 解析				
					最大	最小	平均	標準	設計
現世 完新世	表層~ 沖積：第一粘性土	Ts~Ac1	粘土質シルト	均質。腐植物混入。所々、小円礫 (φ10mm)混入。 ・含水中位。粘性強。所々に砂。腐植物若干混入。	3.00	0.00	1.50	-	1.50
	沖積：腐植土	Ap	腐植腐植土	・No.1に認め。不規則にφ10~30mm程度の小円礫混入。 ・部分的に高含水。未分解の腐植物多量混入。	4.00	4.00	3.50	-	4.00
	沖積：第一砂質土	Aa1	礫混り粗砂	・含水中位。土粒子不均一。 ・礫はφ50~20mmの小円礫。 ・所々、炭分少ない。色調は暗灰色。	16.50	4.00	9.83	-	9.83
	沖積：第二黄質土	Ag1	砂礫	・含水中位。φ2~10mmの重円礫混入。 ・一部細砂層。基質は粘土混り粗砂主体。 ・礫は、安山岩質・花崗岩質中心。	46.00	9.00	21.68	8.49	17.44
	沖積：第二砂質土	Aa2	シルト質細砂	・No.3に認め。含水中位。粒径不均一。 ・部分的に細砂層・砂質シルト層を薄く挟む。	7.00	6.00	6.50	0.58	6.21
四	沖積：第二粘性土	Ac2	砂混りシルト	・含水中位。所々に微細砂。細砂を混入。 ・所々機質土。未分解の木片混入。 ・細砂・砂質シルト層を5~10cm程度に挟む。	20.00	3.00	7.36	4.78	9.75
	沖積：第三砂質土	Aa3	礫混り粗砂	・含水中位。土粒子不均一。小円礫を混入。 ・礫：砂=8:2。色調は暗灰色を呈する。	18.00	11.00	15.00	2.94	13.53
	沖積：第一黄質土	Dg1	シルト混り砂礫	・含水中位。礫はφ10~30mmの円~重円礫中心。 ・最大礫径φ50mm程度。基質はシルト混り粗砂。 ・砂：礫=4:6程度。	53.57	10.00	26.24	10.77	20.85
更 新 世	洪積：第一粘性土	Dc1	砂質シルト	・含水中位。均質。全体に有機物多く混入。 ・部分的に細砂層を薄く挟む。	18.00	5.00	9.86	4.88	7.42
	洪積：第一砂質土	Da1	シルト混り粗砂	・細砂主体。粒径均一。含水中位。 ・一部で砂礫を薄く挟む。腐植物混入。 ・部分的にシルトを薄く混入。色調は暗灰色。	19.00	8.00	12.75	4.16	10.67
	洪積：第二黄質土	Dg2	砂礫	・最大礫径：φ70mm程度基質はシルト混り砂。 ・所々、粘土を多く含有する。色調は暗灰色を呈する。	68.18	15.00	36.53	17.61	27.72
	洪積：第二粘性土	Dc2	砂質シルト	・全体に細砂を含有。均質。含水中位。粘性弱。 ・やや固結気味で硬質。シルト層を薄く挟む。 ・所々で砂分多くシルト質粗砂状。	10.00	3.00	6.70	2.75	5.32
	洪積：第三黄質土	Dg3	砂礫	・No.1に認め。含水中~高位。礫は平均20~30mm。 ・最大礫径φ50mm程度の重円礫。基質は粗砂主体。	34.00	9.00	21.50	-	21.50

工事名	(仮称)山形北インター産業団地開発事業に係る 基本設計及び地質調査(解析)等業務委託		
図面名	土層推定断面図		
年月日			
尺 度	縦 1:200	図面番号	1 業之内 1
会社名	東和測量設計株式会社		
事業所名			
作成者		版 情 報	